



YMNだより

平成26年11月25日 第9号
 発行 やまがたメイカーズネットワーク
 (略称: YMN 代表 大津 清)
 山形電波工業高等学校内 YMN 事務局

朝陽第三小へ3Dプリンター贈呈し、全研究校へ導入

去る11月17日(月)に鶴岡市立朝陽第三小学校において、校長先生始め先生方の参加のもと、山形県立鶴岡工業高等学校の先生より鶴岡市立朝陽第三小学校へ3Dプリンターの贈呈を行い、スタートアップ研修を行いました。

今後、児童を対象に授業等で活用していく予定です。これで、山形県教育センターが実施する「教育における3Dプリンター活用に関する研究」の実践協力校7校へ導入が完了しました。研究概要は、以下の通りです。



「教育における3Dプリンター活用に関する研究」実施要項

1 目的

教育ICTの一つのツールとして、今後、学校に普及が予想される3Dプリンターを先行導入し、わかる授業を展開するための教材・教具の製作・開発や、思考・判断・表現力を育むための創造的な教育活動の在り方等、これからの「ものづくり教育」や「情報モラル教育」への示唆を得るとともに、3Dプリンターを活用した学びの可能性を探る。

2 研究期間 平成26年10月1日 ～ 平成27年3月31日

3 研究内容

- わかる授業を展開するための教材・教具の製作・開発の在り方
- 思考・判断・表現力を育むための創造的な教育活動の在り方
- これからの「ものづくり教育」と「情報モラル教育」の在り方
- 3Dプリンターを学校に導入・活用する際のサポート体制や教員研修の在り方

4 実践協力校(7校)

小学校 天童市立寺津小学校、鶴岡市立朝陽第三小学校
 中学校 山形市立第三中学校、新庄市立新庄中学校
 高等学校 県立米沢興譲館高等学校、県立酒田東高等学校
 特別支援学校 県立山形盲学校

やまがたITソリューションEXPO2014にYMN出展

去る10月27日(月)、28日(火)に山形国際交流プラザ(ビッグウィング)で開催された「やまがたITソリューションEXPO2014」にYMNの展示を行いました。

パンフレット100枚を配布し、多くの方々にYMNの取り組みを紹介しました。今後も情報発信していきたいと思います。ご協力をいただきました皆様に御礼を申し上げます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



3Dプリンターは日本人の発明だ

1980年4月に、名古屋市工業研究所に勤務していた小玉秀男氏が世界で初めて特許出願をした。その後、光造形法により立体模型ができることを実験して、学会誌や米国の雑誌に論文を発表した。しかし、反響がないことから特許審査に必要な手続きを取らなかった。その後、米国で特許が取得され、開発が進んだ。

- 参考
- ・「トコトンやさしい3Dプリンタの本」、佐野義幸ほか著、日刊工業新聞社、2014.5
 - ・「3Dプリンターがわかる本」、洋泉社 MOOK、2014.2
 - ・<http://www.thagiwara.jp/rp/rp-history/kitaguchi.html>